

水防災フォーラムの開催（カスリーン・アイオン台風70年の取組）

- 平成29年9月9日（土）岩手県一関市の一関文化センターにおいて、「カスリーン・アイオン台風から70年 水防災フォーラム」を開催し、流域住民約700名が参加。
- 千葉貞子氏によるアイオン台風の体験談をはじめ作家の高崎哲郎氏や気象予報士の大隅智子氏による基調講演のほか、「水防災意識社会」の再構築を考える”をテーマに5人のパネリストによる討論を実施。
- パネルディスカッションでは、住民の水害に対する危機意識の低下を指摘したうえで、水害の恐怖や教訓を後世に語り継ぐことの重要性や頻発・激甚化する豪雨災害への備えと地域防災力の向上の必要性について理解を深めた。

【主なプログラム】

- 平成28年度「土砂災害防止に関する作文」入賞作品発表会
3名の地元中学生による作文発表
- アイオン台風体験「生きる」
千葉貞子さんによる紙芝居と被災体験談

- 基調講演
「カスリーン・アイオン台風70年に思う」
高崎 哲郎氏（作家・土木史研究者）

「増え続ける台風・大雨災害と最新の防災情報について」～自分の命は自分で守る～
大隅 智子（気象予報士・防災士）

- パネルディスカッション
テーマ「水防災意識社会」の再構築を考える
コーディネーター

平山 健一氏（岩手大学名誉教授）

パネラー

- 佐藤 暁愷氏（一関商工会議所会頭）
- 辻山 慶治氏（中里まちづくり協議会会長）
- 大隅 智子氏（気象予報士・防災士）
- 八重樫 弘明氏

（岩手県県土整備部河川港湾担当技監）

清水 晃氏

（東北地方整備局岩手河川国道事務所長）

【開催状況】



紙芝居を用いてアイオン台風の体験談を語る千葉貞子さん



カスリーン・アイオン台風からの復旧・復興に尽力した方々のエピソードや今後の一関市の発展へ期待を寄せる高崎氏



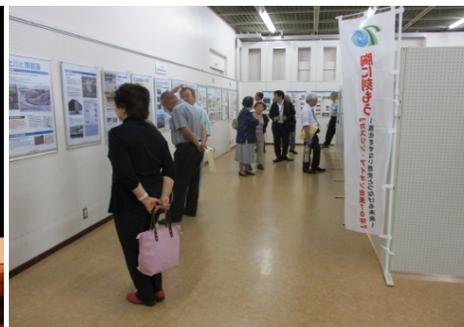
激甚化する異常気象や地球温暖化の影響、最新の防災情報について講演する大隅氏



約700名の参加者が会場に詰めかけた



平山氏のコーディネートのもと、水防災意識社会の再構築について討論する5人のパネラー



一関の今昔写真や国、県、市による治水事業の歩みや施設の機能についてパネル展を開催